

PESTI イベントレポート

パブコメの結果をみんなで見る会

日時 2013年1月30日(木) 18:30~21:00

場所 京都大学 吉田泉殿

人数 8名

1. 本会の経緯

2012年末(2012年12月19日)に、内閣府宇宙戦略室が募集していた「宇宙基本計画(案)」に関するパブリックコメントを出すべく、みんなでどんな意見を出せばよいのかを話し合う会「パブコメワークショップ:これからの宇宙の「使い方」を考える」を開催しました。

参加者のみなさんとまとめた意見は、パブリックコメントが募集されていた期間の最終日(2012年12月25日)に投稿しました。このパブリックコメントへのお返事(意見募集の結果)が宇宙政策委員会 第10回会合の資料の1つとして公開されたのは、2013年1月15日でした。その後、1月25日には、政府の宇宙開発戦略本部により、宇宙基本計画が正式決定されました。

さて、私たちが12月25日に提出した意見に対してどんな“お返事”をもらうことができたのでしょうか?

12月19日にパブリックコメントを考えたみなで、提出意見の扱いについて議論したいと思い、今回の「パブコメの結果をみんなで見る会」を企画しました。12月19日のパブコメワークショップの参加者のみなさんに今回の会のご案内をしました。

2. 議論の様子

今回のパブリックコメントの結果(『宇宙基本計画(案)』に関する意見募集の結果について)は、意見の内容によって複数のカテゴリーに分けて公開されています。私たちが投稿した6つの意見はどこのカテゴリーの中に“収納”されているのでしょうか??

PESTI イベントレポート

みんなで資料をめくりながら推測してみました。そして、そこに書かれている“お返事”を読み解いてみました。

色々と話し合った結果、6つの意見のお返事（と思われるもの）がどのカテゴリーに入っているかを推測することができました。また、そのカテゴリーに対する返事をみたところ「既に基本計画案中にその関連事項が含まれている」という趣旨であると解釈しました。

3. まとめ

パブリックコメントへの投稿、投稿された意見結果についての議論という一連の会を経て、国民の意見のトレーサビリティ（追跡可能性）を構築するというPESTIの目標の1つについて重要な示唆が得られました。

1つは、投稿した意見がどこのカテゴリーに入っているかを追跡できることが分かったこと（多少難しいものもあったが）。2つ目は、パブリックコメントに関して集う場があることで、意見提出へのハードルが下がること（そもそもこのような場に来ること自体のハードルは課題だが）。そして何よりも最後に、この一連の会を通して参加者のみなさんの「宇宙基本計画（案）」に対する理解がより深まったことです。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！

主催 PESTI

運営：

加納 圭（滋賀大学／京都大学）

水町 衣里（京都大学）

森 幹彦（京都大学）

ビデオ記録：

秋谷 直矩（京都大学）

レポート：

水町 衣里（京都大学）